

高品質・収量確保のための準備を行いましょ！

～圃場の排水対策と適期播種で安定生産を！～

◎排水対策

そばは湿害に弱い作物です。特に、播種期から出芽期までの湿害は収量激減に直結します。大雨後に滞水する圃場では作付しない、心土破碎や明渠を施工するなどの排水対策を徹底しましょう。



◎耕起・施肥

そばは極端な酸性土壌では生育が阻害されるので、苦土石灰（100kg/10a）などで酸度矯正しましょう。

耕起作業は碎土率（粒径2cm以下の土塊の割合）70%以上、深さ（耕深）15cmを目標に、雑草対策を兼ねて実施しましょう。

施肥は、窒素分量を2～4kg/10aとし、多くなり過ぎないようにします。分枝数・開花数を確保するために、リン酸とカリは窒素より多く施用します。

成分名	窒素 (N)	リン酸 (P)	カリ (K)
kg/10a	2～4	6～9	6～9

◎適期播種を徹底しましょ！

播種の適期は、平坦部では8月上旬、中山間部では7月下旬～8月上旬、山間部では7月下旬です。播種が遅れると、開花までの生育量が不足するばかりでなく、開花期そのものが遅れ、訪花昆虫の活動が活発なタイミングを逸するおそれがあります。

◎播種様式と播種量

目標苗立ち数：150本/m²

	特徴・方法	播種量（千粒重34gの場合）
条播	出芽揃いが良く倒伏しにくい。収量性が高い。 条間は30cm程度にし、雑草抑制効果を狙う。	4～6kg/10a
散播	簡便であるが碎土が十分でないと出芽が劣る。 均一に散布して軽く土壌に混和・覆土する。	5～8kg/10a

これから暑い季節を迎えます！ 農作業中の熱中症に注意！